

案件概要表

Ⅰ. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ミャンマー国
2. 事業名	マンダレー市における安全で安定した水供給能力向上支援プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	マンダレー市では、急速な都市化に伴う水需要の拡大が大きな課題となっていたことから、この水需要に対応するため、安定して原水を確保できる第4浄水場を「緩速ろ過」方式から「急速ろ過」方式へ改修して浄水能力を大幅に引き上げた。 しかし、同市において初めての「急速ろ過」方式の浄水場であり、十分な運転・管理能力を有しないまま、浄水場の運転を行っている。安全な水を安定的に給水するためには、運転維持管理技術の習得が不可欠であり、速やかな援助が必要である。 本事業では、北九州市が長年培ってきた技術・ノウハウや国際協力の経験を活かして、「急速ろ過浄水場の運転・維持管理技術の指導」や「水道事業の継続性を脅かす水源水質汚染の対策の提案」を実施する。産学官が連携して、両国間の技術交流の活発化と技術移転の促進を図るものである。
4. プロジェクト目標	マンダレー市の急速ろ過方式のNo.4浄水場において、安全で安定した水が供給できるようになる。
5. 対象地域	ミャンマー国マンダレー市（在ミャンマー日本国大使館）
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	マンダレー市民約130万人中、第4浄水場周辺に住む約26万人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> - 急速ろ過浄水場の運転・維持管理や水質分析技術を習得し、安定して急速ろ過浄水場を運転できるようになる。 - 水道事業の継続性を脅かす水源水質汚染の対策が提案される。 <活動> - 本市の経験やノウハウを活かし、カウンターパートと協議しながら、持続的に活用できる急速ろ過浄水場の運転操作マニュアル（各種設備の操作手順書、日常および定期点検チェックリスト）を作成する。 - マンダレー市で水道水の使い方について、広報活動を行う。 - 水源水質汚染物質を除去できるU-BCFの適用可能性調査を実施する。 - 上記の活動効果を高めるため、北九州市立大学、民間（北九州市海外水ビジネス推進協議会会員）企業や他の自治体等と連携して受入研修を実施する。 - 北九州市上下水道局職員による出前講演を実施する。（日本国内）
8. 実施期間	（西暦）2019年12月～2023年10月（3年10か月）
9. 事業費概算額	3,584千円
10. 事業の実施体制	北九州市上下水道局、北九州市立大学、北九州市海外水ビジネス推進協議会の三者が連携して実施する。
Ⅱ. 応募団体の概要	
1. 団体名 （提案自治体名）	北九州市上下水道局
2. 活動内容	1999～2006年 カンボジア国へ「水道施設の運転維持管理」個別専門家派遣 2003～2018年 カンボジア国水道事業の技術支援プロジェクトへ専門家派遣 2013～2016年 JICA 草の根事業「ミャンマー国マンダレー市における浄水場運転管理能力向上事業」